

# 平成26年度予算編成方針の骨子

## 基本方針

「岡山県行財政経営指針」に基づき、これまでの行財政改革の成果を今後とも維持するとともに、不断の改革に取り組み、財政規律を守った持続可能な財政運営を行う一方で、「晴れの国おかやま生き生きプラン(案)」の開始年度に当たることから、スピード感を持って教育再生や産業振興をはじめとするこれからの本県に好循環をもたらす施策に全力で取り組み、県民に成果を実感してもらえる予算編成を目指す。

## 予算要求基準

基本方針を踏まえ、「晴れの国おかやま生き生きプラン(案)」に掲げる「教育県岡山の復活」、「地域を支える産業の振興」、「安心して豊かさが実感できる地域の創造」の3つの重点戦略などに基づき重点的に推進する施策・事業については、部局間の予算配分にとらわれず、重点的に財源を配分することとし、以下のとおり要求基準を定めるが、国の社会保障制度改革を含めた予算編成や地方財政措置等の動向により、再度通知し直すこともある。

なお、消費税率改定に伴う消費税増税の影響額については、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のため、要求基準に別枠を加算する措置を講ずることとする。

### [義務的経費]

過去の執行実績を踏まえて、現行の見積方法を精査するなど、必要最小限の所要額での要求とする。

### [一般行政経費（事業費・運営費）]

- 別紙「平成26年度予算要求に向けた重点検討事項」に掲げた事項に留意し、これからの本県に好循環をもたらす、全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に向けて実効性の高い施策・事業については、緊急性や費用対効果などの観点から、財政当局と協議・調整を行った上で厳選し、所要額の要求を認める。
- 上記施策・事業等の財源を確保するため、下記のとおり要求基準を設定。

#### (事業費)

- ・ 産業労働部、教育委員会は一般財源ベースで平成25年度当初予算額の同額、その他の部局については、平成25年度当初予算額の98%を要求上限とする。  
産業労働部、教育委員会については、既存施策・事業の組み替え等により重点的に推進する施策・事業等を積極的に要求すること。

#### (運営費)

- ・ 経費削減の徹底などにより、事業費ベースで平成25年度当初予算額の同額を要求上限とする。

### [投資的経費（公共事業等費）]

- 道路・橋梁等の計画的な維持修繕、適切な管理に取り組むとともに、老朽化対策・事前防災・減災対策を中心に必要な社会基盤整備を進める。

#### (公共事業等費)

- ・ 補助・単独公共事業と維持修繕経費を合わせた地方負担額（県債＋一般財源）ベースで平成25年度当初予算額の同額を要求上限とする。
- ・ 維持修繕経費は、一般財源ベースで平成25年度当初予算額の110%までの要求を認める。

## 【別 紙】

### 平成26年度予算要求に向けた重点検討事項

#### 《教育県岡山の復活》

- ・ 子どもたちが落ち着いて学習できる環境を整備し、教師の教える技術の向上を図る。  
(例：スクールカウンセラーや支援員の効果的な配置・活用等による不登校児童生徒の解消、学力の状況把握と分析に基づく基礎学力の向上、効果的な指導手法の検証と優良事例の普及、放課後や土曜日等の補充学習の拡充 等)
- ・ 家庭教育の充実を図り、地域を挙げて教育支援を行う。  
(例：家庭の意識向上を通じた学習時間の確保と生活習慣の定着、地域住民の参画による学習支援の拡大 等)
- ・ 規範意識と思いやりの心、郷土への愛着と誇りを持った子どもの育成を図る。  
(例：規範意識や思いやりの心を育む道德教育の充実、学校における長期的な体験活動の推進 等)
- ・ いじめ、暴力行為、非行等について、関係機関が一体となって抜本的な対策を行う。  
(例：問題行動の初期段階での確実な対応、「悪いことは悪い」という善悪の意識の徹底、非行防止等に向けた社会全体での危機感の共有と取組の推進 等)

#### 《地域を支える産業の振興》

- ・ 新規立地や県内再投資など企業が投資しやすい環境を整備する。  
(例：補助制度の拡充や更なる規制緩和の検討など総合的なサポート対応の充実、企業ニーズを踏まえた企業用地の確保、水島コンビナートの競争力強化に向けた支援 等)
- ・ 陸海空の交通基盤の充実を図り、交通や物流の効率性を高める。  
(例：水島港や岡山空港の機能強化と利用促進、シミュレーション解析など先進的手法も活用した岡山市中心部等の渋滞緩和対策 等)
- ・ 県内中小企業の技術力と市場競争力を高め、力強い成長を促す。  
(例：航空機関連分野等の新技術の開発支援、国内外の商談機会の提供等の販路開拓支援、市場や顧客を意識した食品関連産業の活性化支援、新規創業や事業承継による円滑な世代交代の促進、新たな分野へのビジネス展開の支援 等)
- ・ 観光消費額や観光客数の増加に結びつく効果的な取組を進め、観光関連事業の充実を図る。  
(例：民間企業とのタイアップや近隣県との連携による誘客促進、農業・自然・スポーツ・歴史・文化など地域資源の新たな観光素材への磨き上げ、ターゲットに合わせた効果的なプロモーションの展開、外国人向けの案内や地域を挙げたおもてなしなど受入体制の充実、成長戦略等と連動した対外情報発信 等)

- ・ 県産農林水産物のブランドの確立と力強い担い手の育成を通じ、儲かる農林水産業の実現を図る。  
（例：国内外のマーケティングの強化と市場ニーズに基づいた産地規模の拡大、輸出を含めた食市場の拡大の推進、県外からの新規就農の促進と経営確立支援、担い手への農地集積等による収益性の高い経営体の育成、企業の農業参入と法人化の促進、鳥獣害防止対策の推進 等）
- ・ 県内外の学生等の県内企業への就職を促し、県内企業が求める人材を育成する。  
（例：新卒者のUターンなど県内就職支援、専門的技能を有する高校生の育成 等）

## 《安心で豊かさが実感できる地域の創造》

- ・ 健康寿命の延伸を図るとともに、誰もが住み慣れた地域で自立して暮らせる社会をつくる。  
（例：データの活用や大学・企業と連携した心と体の健康づくりの推進、生活習慣病の予防に向けたバランスのとれた食生活や運動習慣の普及・定着、高齢者の地域包括ケアシステムの構築、地域医療提供体制の整備、社会保障制度改革に伴う対応 等）
- ・ 少子化対策推進の観点から、結婚、妊娠、出産、子育てを切れ目なくサポートする。  
（例：広域的な出会いの場づくりの新設、妊娠・出産の正しい知識の普及、多様化するニーズへの対応を通じた待機児童の解消 等）
- ・ 災害に対する備えを強化するとともに、犯罪や事故のない社会を実現する。  
（例：地域防災力の強化、迅速で分かりやすい防災情報の提供、防犯設備や情報機器も活用した犯罪の起きにくい社会づくりと交通安全対策の推進 等）
- ・ 中山間地域等の自立的な地域づくりに向け、民間参加や県内への移住などの新たな動きを拡大させる。  
（例：集落機能維持に向けた取組、企業や都市住民等の参加による地域活性化、きめ細かな受入体制の整備等を通じた移住・定住の促進 等）
- ・ 身近な生活環境の向上や文化・スポーツを通じた地域づくりなど、豊かで潤いのある暮らしの実現を図る。  
（例：スギ花粉の飛散低減に向けた広域的取組の推進、電気自動車や太陽熱利用設備等の普及促進、地域づくりにおける文化の力の活用、おかやまマラソン(仮称)の開催準備、事前キャンプ誘致など東京オリンピック開催への対応 等）
- ・ 総合的な情報発信力を強化し、本県の知名度の向上と岡山ブランドの確立を目指す。  
（例：イメージアップ戦略の新たな展開、本県の魅力に共感する人のネットワークの拡大 等）